

おひさま サタダ

2017



vol.170

3



はいっ ポーズ!

《訓子府地区・緑丘》

藤森 秀志さんご家族

(紹介は2ページです)

特集

● JAきたみらい青年部・
女性部・フレッシュミズ
第12回通常総代会



玉葱の播種

季節の薫り



春のあたたかさと寒さが入り混じる2月上旬、きたみらい管内では生産量日本一の玉葱の播種作業が始まりました。

温根湯地区では生産者19戸で構成する玉葱共同播種集団が「北はやて2号」、「オホーツク222」など早生品種の播種作業を2月14日より開始。播種した育苗ポットは各生産者のハウスへ運ばれ、伏せ込みが行われます。今年は例年になく好天に恵まれ、積雪も少なく、作業はスムーズに進みました。

当JA管内では約4,600畝の作付けを予定しており、播種作業は3月上旬まで、定植時期に合わせて行われます。

(菊池 光祐)

写真は2月17日、温根湯地区で撮影。

もくじ CONTENTS

特集	地域での組織再編を進める………4
	JAきたみらい青年部・女性部・フレッシュミズ第13回通常総代会終える
○季節の薫り………2	
○表紙紹介………2	
「三姉妹の健康を願って」	
○地域だより………6	
○ほのぼの広場………8	
・きたみらいのホープさん	
・なかよし夫婦	
・ブリティーウーマン	
・大きくなったら	
○JAからのお知らせ………10	
○おひさまサラダクッキング………24	
「洋風タマネギまるごと肉じゃが」	
「新タマネギのさっぱりサラダ」	

表紙紹介

三姉妹の健康を願って

元氣いっぱい藤森家の三姉妹。長女の寧々(ねね)ちゃんはアニメ「プリパラ」に憧れて、アイドルを目指しています。5歳からピアノを習い始め、幼稚園で教えてもらった流行りの「恋ダンス」も家で練習し、アイドルになる準備は万端です。

次女の紗奈(さな)ちゃんの夢はバレリーナになること。少々身体が硬いのが悩みですが、得意のフラフープを披露してセンスの良さをアピールしてくれました。

三女の花歩(かほ)ちゃんはまだ1歳。お姉ちゃんたちと一緒に遊びたくて懸命についていきます。おもちゃを広げて遊ぶのが好きですが、最後にはちゃんとお片付けできるお利口さんです。

お姉ちゃんたちは芋切りや草取りを手伝ったりするものの、自分たちの夢にまっすぐ突き進んでいます。おとうさんやおじいちゃん「跡継ぎは三女に期待かな」と笑って話していました。

今月号の表紙は、家族のみなさんの「自分らしく健康に育ってほしい」という思いを込めて飾られたおひなさまと一緒に撮影しました。

(石井 睦美)



【ご家族紹介】
左から～おかあさんの彩さん(33)、おとうさんの秀志さん(34)、次女の紗奈ちゃん(5)、おじいちゃんの光秋さん(60)、三女の花歩ちゃん(1歳4ヶ月)、長女の寧々ちゃん(6)、おばあちゃんの幸江さん(58)
作付内容：馬鈴薯、小麦、玉ねぎなど約36畝

特集

平成29年度

地域での組織再編を進める

JAきたみらい青年部・女性部・フレッシュミズ
第13回通常総代会終える

青年部 結束目指し、交流を進める

JAきたみらい青年部は2月13日、センター事務所第13回通常総代会を開き、代議員48人（本人出席43人、



▲代議員48人が出席して開かれた第13回通常総代会

委任状出席5人）が出席しました。開会挨拶で引地隆之部長は「盟友一人ひとりが営農や地域活動について模索し青年部員として活躍して欲しい。青年部活動を通じて農業振興や地域作りに貢献していきたい」と部員間の結束を呼び掛けました。これに迎え、JAの齋藤常務は「これからの時代を担う青年部の活動に大きく期待している」とエールを送りました。



▲激励を込めて祝辞を述べる齋藤常務

新年度事業では、部員交流研修（スポーツ交流）の実施、地域イベント



▲（左から）議長を務めた石原正啓部員（北見支部）と村岡俊也部員（端野支部）

への参加など平成29年度活動計画が承認されました。新部長に選出された藤森秀志さんは「本部と支部の壁を無くし、きたみらい青年部が一つに結束できるよう、部員交流を進めたい。今後も組織再編を協議し、みなさんに広く参加してもらえよう進めていきたい」と挨拶をしました。



▲就任挨拶を行う藤森部長、橋副支部長、加藤副支部長（左から）

- 新役員体制
- 部 長 藤森 秀志（訓子府）
 - 副 部 長 橋 秀俊（西）
 - 〃 加藤 葵（端野）
 - 西 支 部 長 星 加 陽 平
 - 置 戸 支 部 長 篠 木 雄 一 郎
 - 訓 子 府 支 部 長 上 原 寛 隆
 - 北 見 支 部 長 安 齊 亮 一
 - 端 野 支 部 長 齊 藤 正 廣

青年部・女性部・フレッシュミズでは地域での組織再編が進み、新たな活動に向けて協議がなされています。組織の在り方が少しずつ変わってきているなか、それぞれの課題を協議し、模索を続ける後継者・担い手三組織を報告します。

女性部 より一層楽しめる年へ

JAきたみらい女性部は2月14日、センター事務所第13回通常総代会を開き、代議員44人（本人出席42人、委任状出席2人）が出席しました。新年度事業では、部員交流視察研修、道外農業視察研修の企画、オホーツク女性協や道女性協などの研修への積極的な参加などが承認されました。

武田志津子部長は開会の挨拶で、「就任当初は大きな不安があったが、部員みなさんからの“ありがとう”と“頑張って”の言葉が励みになり力を与えてくれた。活動にも多数の参加を頂き、感謝の一年でした」と、



▲就任の挨拶を述べる北野部長、中副部長、茂住副部長（左から）

新役員体制

- 部 長 北野はるみ（訓子府）
- 副 部 長 茂住 真澄（西）
- 〃 中 智子（端野）
- 西 支 部 長 大 武 豊 子
- 置 戸 支 部 長 河 野 智 子
- 訓 子 府 支 部 長 小 林 ま ゆ み
- 上 常 呂 支 部 長 角 田 優 子
- 北 見 支 部 長 米 森 美 恵 子
- 端 野 支 部 長 松 下 明 美

また、総代会終了後には、昨年11月に実施した国内（九州）農業視察研修について役員から報告。最後には参加した部員からの感想も述べられ、有意義な視察を振り返りました。

フレッシュミズ 楽しく、気軽に参加を

JAきたみらいフレッシュミズは2月15日、センター事務所第13回通常総代会を開き、代議員24人が出席しました。

平成28年度は支部再編した初年度ということもあり、米森会長は「組織の形が変わることでも不安もあったと思いますが、新しい出会いもたくさんあったと思う。この出会いをみなさんの輝く未来や夢へとつなげていってほしい」と挨拶を述べました。

新年度事業には、昨年同様の学習会のほかに、畑楽クラブ・畜産クラブの開講を計画。より一層“学習”



▲就任の挨拶を述べる松崎会長（左から1人目）と新役員ら

新役員体制

- 会 長 松崎 久美（置戸）
- 副 会 長 坂下 晴香（西）
- 〃 川畑美由紀（上常呂）
- 西 支 部 長 大 橋 加 奈 子
- 置 戸 支 部 長 片 桐 志 穂
- 訓 子 府 支 部 長 山 川 由 美 子
- 上 常 呂 支 部 長 吉 田 こ の み
- 北 見 端 野 支 部 長 佐 藤 亜 希 子

に力を入れていく予定です。役員改選では、新会長に松崎久美さん（置戸支部）、副会長に坂下晴香さん（西支部）、川畑美由紀さん（上常呂支部）を選出。新会長の松崎さんは「昨年度はフレッシュミズとして新しい一歩を踏み出した年だったと思う。今年は更に楽しく、気軽に参加してもらえ活動が出来るようにしたい」と意気込みを話しました。

また、総代会終了後には、今年1月に実施された当JA馬鈴しょ振興会道外販売推進報告が参加会員からなされ、閉会しました。

白花豆くらぶはおんねゆ温泉ゆめ広場で開催された「おんねゆ温泉郷雪物語2017」に出店し、生産量日本一の白花豆のPR活動を行いました。

このイベントは1月28日から4週にわたって毎週土曜日に開催され、地元のお菓子屋などでも販売している白花豆を使ったプリンやムースなどのスイーツを中心に提供。また今回は新商品として、揚げいも感覚で食べられる白花豆のポッポちゃん揚げも販売しました。どの商品も好評で、店の前は地元の人や観光で訪れた海外の人達の笑顔で溢れていました。

お客さんからの大きな反響に森谷裕美代表は「スイーツも売り切れになり、とても嬉しい。今後も道内にとどまらず広く白花豆を知ってもらいたい」と話しました。

同くらぶは今後、料理講習会などを通してPR活動を行っていく予定です。
(菊地 光祐)



▲商品を買求めるお客さんで賑わうブース会場

西地域 温根湯 **地域のイベントで白花豆をPR**
～白花豆くらぶ～



▲種芋の選果基準を確認するみなさん

東地域 北見 **種芋の選果基準を確認**
～北見市種芋部会～

北見市種芋部会（白尾高幸部会長）は2月10日、種子馬鈴薯（種芋）の選果場巡回を行い、自らが生産した種芋の品質や選別状況を確認しました。

当日は選果が行われている置戸選果場と端野選果場、現品審査が行われている青果物センターを巡回し、部会員家族を含めた11人が参加。参加者は種芋の選果基準を確認し、家族同士の親睦を深めました。

白尾会長は「28年産は平年に比べると収量は少ないが、そうか病が少なく、品質は良い。収穫時に土が湿っていた分、ハーベスターの収穫傷がつかなかった」と話しました。

北見地区では8戸の生産者が男爵、とうや、きたひめ、オホーツクチップ、コナフブキの種芋を作付けしています。種芋は、3月下旬から4月上旬にかけて馬鈴薯生産者に引き渡されます。

(高田 陽介)



地

域

だ

よ

り



端野町馬鈴薯振興会（島倉栄一会長）は2月9日、総会後にばれいしょ講習会を端野地区事務所で行いました。生産者やJA職員ら47人が参加。網走農業改良普及センターの永山毅普及職員から平成28年産の作柄や浴光催芽、ジャガイモシストセンチュウなどについて説明を受けました。

永山普及職員は種いもサイズについて「Sサイズのカットは生産性が低い。Sサイズは最後に使い、全粒として植付けすることを念頭にカットブランチの刃を外す作業も考慮してもらえれば」と説明しました。

シストセンチュウのライフサイクルでは「拡散防止には地域が一体となった取り組みが必要。また、雪踏みにより野良いもを抑制するなど、密度を上げないことが大切」と話しました。

(高田 陽介)

東地域 端野 **栽培技術を確認**
～端野町馬鈴薯振興会～



▲永山普及職員の説明を聞く参加者のみなさん

南地域 訓子府 **地元のまつりを盛り上げる**
～青年部 訓子府支部～



▲すべり台を勢いよく滑る子どもたち

青年部訓子府支部（藤森秀志支部長）は、2月5日、訓子府町内で開催された「第38回くんねっぷさむさむまつり」に参加し、氷のすべり台を披露しました。当日は青年部特製カレーライスも販売し、来場者に青年部をアピールしました。

すべり台の作製に取り組んだ部員らは連日、気温が下がる日没後に集合して取り組みました。重機を持ち込み、大きな斜面のすべり台が完成。来場した子どもたちはとても楽しく滑って遊んでいました。

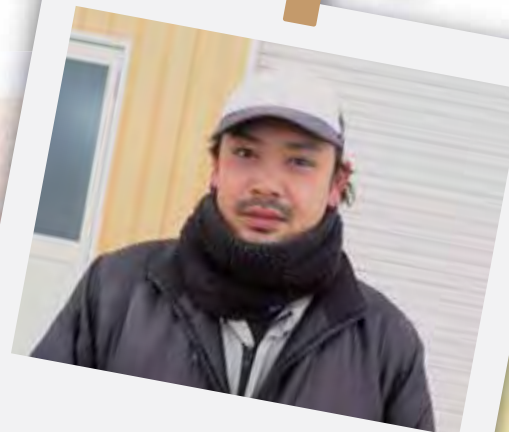
また、青年部で販売したカレーライスは午後1時前には完売となり、おいしいと好評を得ました。

藤森支部長は「今年は、すべり台の作製が遅れていたがみんなで協力していいすべり台が出来た。また、天気にも恵まれカレーも無事完売することができて良かった」と話しました。

(神田 貴章)

ほのぼの 広場

きたみらいの ホープさん



仕事を乐しみつつ 学んでいきたい

端野地区・二区

安藤 好規さん(31歳)

- 趣味は？
お酒、料理、ゲーム
- 好きな食べ物？
肉、刺身
- 理想の女性像？
明るくて優しい人
- 好きな芸能人は？
新垣結衣
- 農業で学び実感したことは？
作物作りの楽しさや厳しさを学びました。
- 今後の抱負は？
仕事にも結構慣れてきましたが、これからも沢山のことを学びたいです！

(梅澤 大)

好規さんは稲畑野複合経営の博範さん勝枝さんの長男で就農して5年目になります。

プリティ ウーマン



人との出会いから 自分磨きに！

留辺薬地区・大富

茂住 真澄さん(51歳)

今回はH29年度女性部副部長の茂住さんに登場いただきました。(丸山 恵理)

◆ご出身、ご自身の性格は？

生まれも育ちもずっと留辺薬です。結婚前の仕事も留辺薬で、時計の木杵を作る会社で事務を約10年していました。

性格はマイペースでポジティブです。人からは「天然でおもしろいね」と言われることもあります(笑)

◆旦那さんとの出会い、お子さんは？

主人とは小学校からずっと同級生でしたが、学生時代はほとんど話した記憶がありません(笑)高校卒業後に親しくなり、28歳のときに結婚しました。子どもは男の子2人に恵まれました。

◆特技やマイブームは何ですか？

20代の頃から地元のゲートボールチームに所属しており、たまに大会にも出ています。昔、留辺薬町で全国大会が行われ、開催地だったので大会に出場できて、良い経験になりました。最近のマイブームは、断捨離と韓国ドラマに再熱しています。

◆組織活動で楽しいこと、今後の抱負は？

組織活動では、研修会等で講演を聞いたり、部員の皆さんと色々お話できるのが楽しいです。今年度より女性部の西地域も支部再編し西支部として一つになるので、さらに交流が広がるのが楽しみです！

今後は、人との出会いから自分磨きにつなげていきたいです。そして、組織に未加入の方にも魅力を伝えていけたらいいなと思っています。

大きくなったら

野球選手になりたい！ (伊吹くん)

お父さんとのキャッチボールが好きなので、投手になりたいです！

農家になりたい！ (晃斗くん)

お父さんみたいに男らしくトラクターに乗りたいです！

伊吹くんと晃斗くんは萩原涼太さん、知香さんの長男、次男です。取材中も元気一杯の二人は、普段から追いかけっこをしたり、一緒にミニカーで遊んだり、時にたたかいごっこをするほどの仲良し兄弟です。

(高田 陽介)

北見地区・大正

萩原 伊吹くん(6歳)

あきと 晃斗くん(4歳)

Qお付き合いのきっかけは？

祐樹さん：短大時代に札幌に住んでいた頃、共通の友人の紹介で知り合いました。そして卒業と同時に一緒に北見にきました。

Q共通の趣味や好きなことは？

祐樹さん：ドラマなど一緒にテレビを観ることです。現在放送中のドラマなら「スーパーサラリーマン佐江内氏(さえないし)」が好きです。お笑い番組もよく観ます。

Qこれからしたいことは？

祐樹さん：温泉など近場でもいいのでゆっくりしたいです。

美生さん：ディズニーランドや沖縄など家族で旅行に行きたいです。個人的には京都に行って、舞妓さんに変装してみたいです(笑)

Qお互いの好きなところは？

美生さん：最近、料理を手伝ってくれるようになったところ。

祐樹さん：料理はもちろん、シュークリームやケーキなど、お菓子をよく作ってくれるところ。ごはんもお菓子もなんでも美味しいです。

Qお互いに一言

祐樹さん：いつも好きなことをさせてくれてありがとう！

美生さん：これからも末永くよろしくお願いします。

(丸山 恵理)



ながよし夫婦

これからも末永く！

相内地区・豊田

森 谷 祐樹さん(34歳)
美 生さん(34歳)

ひろ 祐
ふみ 美

き 樹さん(34歳)
ふゆ 生さん(34歳)

INFORMATION

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
JA北海道大会決議事項の実践やその時々
のトピックスなど、組合員の皆様に定期的
にお伝えします。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイ
トをご覧ください。

JA北海道中央会



平成29年1月、北海学園大学経済学部と北海道
大学農学部において、学生向け授業の一環として
「北海道農業の概要と、それを支えるJAグルー
プの役割」について講義を行いました。

「北海道農業が日本の食を支えていることを知
り、道民として誇りを持った」JAグループが農
畜産物の安定供給だけでなく、インフラ提供等様
々な役割を果たしている
と知ることができた」等
の感想をいただき、北海
道農業・JAへの理解を
深めてもらうことができ
ました。
今後も「サポーター5
50万人づくり」に向け
た情報発信を進めて参
ります。



JA北海道信連



JAバンク北海道では、地域貢献活動の一環と
して、AEDの寄贈を平成21年度より実施して
おり、今年度は、JR各駅に7台、大空町社会福祉
協議会に1台の計8台を寄贈しました。

累計寄贈数は、今年度分を含
めて、43箇所65台となり、救命
活動や救命講習等に活用されて
います。

(JR滝川駅にて)

JAだきかわより贈呈↓



ホクレン

ホクレンパールライス部で
は「ゆめぴりかごはん」と
「北海道こめ油」に次ぐ米関
連商品として、日本食品製造
合資会社(札幌市)と共同開発により、1月から「ゆ
めぴりか」の乾燥玄米入りグラノーラ(230g入
り)の発売を開始しました。朝食の新しいメニ
ューとして牛乳や豆乳をかけて食べるのがお勧め。
道内Aコープやホクレンショップ等パールライ
ス取扱店で販売しています。(一部取り扱いのない
店舗もございます)



JA共済連北海道

「第68回さっぽろ雪まつり」において、平成28年
度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコン
クールの入賞作品64点を展示しました。

260万人を超える来場者数となった「さっぽ
ろ雪まつり」で、JA共済連北海
道の活動と交通安全への思いを知
っていただくことができました。

今後道内のみならず、全国や
海外からの観光客の方々にも交通
安全の大切さを伝え、事故防止に
繋がっていきます。



JA北海道厚生連



【旭川厚生病院で「土曜ドック」を】
旭川厚生病院では、男性の方を対象として、隔
週土曜日に人間ドックを実施しています。午前中
に全ての検査が終了し、検査結果は受診日から1
週間ほどでお届けします。前立腺がんや肺ドック
などのオプション検査も可能です。

随時予約を受け付けておりますのでお電話でお
問い合わせください。

※完全予約制

(TEL) 0166-33-7171

(内) 2146・2198

【連載】JA北海道大会実践フォーラム パネルディスカッション テーマ「協同の力で実現する 農業所得20%増大に向けて」②

作家・エッセイスト

森

久美子氏

「協同の力で実現する農業所得20
%増大に向けて」と題したパネルデ
ィスカッションにおいて、パネリス
トの皆さんから頂いたご提言をシリ
ーズでご紹介します。
第2回は、森久美子氏の提言を紹
介します。



もり くみ こ 氏
作家・エッセイスト

農林水産省・食料・農業・農村政策審議会臨時委員
北海道農業・農村審議会委員

消費者への情報発信を

一連の農協改革と、自己改革が政府から言わ
れるなかで、消費者も、コストが高くつくから
農協の資材を買うのはけしからんと思っ
ています。

消費者は仕組みが分かっていません。農協が
悪者にされている感が非常に強く、その誤解を
解くように、消費者への発信をして頂きたいで
す。

組合員がお金を払って自ら運営する協同組合
の購買事業に対して、誰かが切りつけていいの
かという思いがあります。

農協が売るものや、農協経由で販売されてい
るものはコストが高いついていて高いの
ではないか、直に農家から買った方が良さ
と思う消費者は、明らかに知らない間に増
えていると思います。

そこを払拭するためにも、JAいわみざわの
事例発表にありました、資材センター設置
などの施設統合によるコスト削減等の事
例は、どんどん発信して頂けたらと思
います。

また、土壌診断を通じた肥料コストの削減
などを、経営面積の大きい北海道なら
ではの独自性としてとらえて、発信し
て頂きたいと思ます。消費者にも農協
があるからこそ私たちは安定供給して
もらえるんだってことが理解できる
ようになると思います。

農協の連携で安定供給を

消費者は、北海道の農産物が美味しいと思っ
ていて、生鮮野菜やお米は北海道のものを
食べています。しかし加工品は、原材料が
北海道かどうかをチェックしないで買
う人たちがほとんどです。

加工品にかかるお金は、食費の40%以上
で、生鮮品より加工品を食べることが多
いです。

農協側は加工品に北海道の物がどんな風
に使われているかを、はっきり表示して
アピールする。あるいは加工・販売業
者に道産食材使用であることをきちん
と表示してもらうように働きかけて頂
きたいです。

端境期に何を扱うかは加工業者にと
っては死活問題なので、農協の連携で
端境期を埋めて、一年間オール北海
道の材料を供給できれば、北海道は
より強い産地として生き残っていけ
ます。

安定的に量を供給できる横のつながり
を持って、国民の胃袋を守るという
認識をはっきり持って頂いたら、農
協の力はもっと広がるのではない
かと思います。

最後に一言

所得増大が、なぜ必要なのか。それは来
年も営農できる再生産可能な価格で買
ってもらわなければ続けられないから
です。消費者に対して、美味しいもの
を再生産して渡すために所得増大は
必要だよ、というメッセージが伝わ
っていないように感じます。

消費者が買う価格に上乗せされるの
ではという抵抗感を減らすために、
コスト削減努力をしていることをぜ
ひ伝えてもらいたいです。どんな
言ったださって良いと思ます。

皆さんの胃袋、健康を守るには、安全
で安心な食料を供給する農家が再生
産可能な価格で買って頂くことが重
要だよ、努力もしているから、少な
くとも今の価格で買ってほしい、で
あればそれ以上に評価してきちん
と買い支えてほしいという発信を、
グループ全体ですて頂けたら、も
っと買う側にも伝わると思ます。



INFORMATION

【連載】JA北海道大会実践フォーラム
パネルディスカッション
テーマ

「道民と食と農でつながる
サポーター550万人づくりに向けて」②

「道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりに向けて」と題したパネルディスカッションの内容をシリーズでご紹介する2回目をお送りします。



森川 純氏
北海道新聞社 論説委員

私は6、7年前まで北見で3年間過ごしており、当時、加工品の充実度には驚きましたし、付加価値の重要性を学びました。

また、年中安定的に出荷できるということも一つの武器になりますが、消費者に旬を知って頂くことも一つの考え方だと思います。例えば春から夏にかけてはアスパラが穫れます。それと同時に道東やオホーツクの定置網にはトキシラスやサクラマスがかります。そこでアスパラとサクラマスで何かできないかといったように、色々なところで旬のもの同士を組み合わせれば、何かまた新しいものができると思います。農協の色々な取り組みを今後も期待しております。

高橋 和則氏

JA北海道中央会
総合企画部長



きたみらいは、子どもたちを対象にした農業経験、体験の取り組みが特徴的です。次世代に向けて農業や農村、JA、協同組合を知ってもらう取り組みであり、素晴らしいと思います。こういう取り組みは、更にパワーアップして取り組んで頂きたいです。

また、先日、全国協同組合学会にて道青協のファームステイ事業が先進優良事例として表彰されました。評価の高い取り組みとしてご紹介します。



河野 真也氏
タレント

あぐり王国というテレビ番組では、毎回小学生と一緒に農家さんのところで、色々な体験をさせてもらいましたが、なかには農家さんになった子もいます。農業高校に進んで農家さんになった子もいます。

宮入 隆氏

北海学園大学 教授



漁業や漁協との連携で新しいものをつくるというご提案を頂きましたが、どういった形で地域の人たちと連携していくかという点は大きな課題になると思います。高橋常務、同じような産業のなかでの色々な連携により加工品を魅力的にしていける、そういった取り組みも行っていますか。

高橋 優氏

JAきたみらい 常務理事
(事例発表者)



イベントになります。北見市常呂には水産物があるということで、漁協にもお声をしてお参加頂くといった取り組みもしております。

また、北見は塩焼きそばがB級グルメとして少し有名になりましたが、ホタテのエキスや地元玉ねぎを使うことが条件となっており、こちらを通じた連携による取り組みもあります。ただ、森川さんから言われたように、もう少し積極的な形に変えて、広げていかなければならないなと思いました。

高橋 さやか氏

食育フリーマガジン
mogmag 編集長



高橋常務の事例発表のなかでも、地域の方と一緒に作った取り組みの参加人数が一番多くて、やはり地域の方を巻き込んで何かをしていくことが大切なのだと思います。

例えば、子育てサロンのなかに地域の農家の方が参加してその場で直売してみたり、農家のお母さんが来て、子どもたちも交えながら料理教室をやってみたりという、地域との関わりがあると、子育て中のお母さんたちの不安もなくなったり、皆が繋がったりいき、ファンになってサポーターになったという流れができていくのかなと思いました。

宮入教授 実際、既に色々な形で取り組みを行っているなかで、今後さらに形にしたいものとしては具体的にどのような方向があるのでしょうか。

高橋常務 加工品は、5年前は全体的にアイテム数が少なく、売上も1000〜2000万円程度でした。しかし商品開発や専門のセクションの設立により、毎年倍々で販売が伸びております。おかげさまで今年の目標は桁が一つ上がりまして、1億となりました。少しずつアイテム、売上も伸びており、現物だけではなく、形を変え、食べて頂き喜んでもらうといった取り組みを、少しずつしていかなければなりません。

宮入教授 たくさん販売することも大事な一方、北海道は大産地であるが故に、外に売ってしまうという点があると思います。そこで逆に地元の人からの加工品に対する評価や、こういう特産品が出来て嬉しいといった声は実際にありますか。

高橋常務 たくさんそういった声も頂いております。加工品の玉葱醤油は、居酒屋さんなど飲食店のみなさんが地元へのこだわりからお店に置いて頂けるようになりました。また、居酒屋さんでは玉ねぎを丸ごと使った料理など色々工夫を凝らして提供して頂いており、非常にありがたいと思っています。

宮入教授 子育てに苦労するお母さんたちにどういった支援ができるか、そのような点で地域を巻き込む先頭に農協さんがいても頼もしいかと思っています。森川さんは、取材の経験などから北海道の農業について言えることがあれば教えて頂けますか。

森川氏 北見にいた時、カレーライスマラソンというイベントがありました。マラソンの途中で具材を買って、それを公園に持って行き、カレーをつくって食べるという行事です。こういうものを通して農業が、特に子どもたちにとって、身近になると思います。また、今の野菜は多くがF1ですが、子どもに命の育まれ方を伝えるという点でも在来種には魅力が一杯詰まっていると思います。私も農家の方と一緒に札幌黄の苗を作っていますが、玉葱を植える白いぼんぼりの花が咲き、何千もの種が実る、そんな姿を見ると魅力が増すのでは、と思います。



JAからの お知らせ INFORMATION

【連載】今こそJA！ ～その意義と役割～ 第5回 日本の農協はなぜ出来たか？

我が国では戦後間もない1948年（昭和23年）に農業協同組合が発足しました。

戦前には産業組合、戦中には農業会とその形を変えながら、日本の農協はどのようにして出来たのでしょうか？以下、報道生活読本Vからの引用になります。

戦前は「地主」と「小作農」による半封建的な農地所有制度が固定化していましたが、戦後、民主化政策の一環として、地主が所有していた多くの農地を国が強制的に買い上げ、これを小作農に安く売り渡す「農地改革」が断行されました。小作農が自作農になるのは画期的なことでしたが、彼らには経済的な基盤もなく、資金の蓄えもほとんどありませんでした。このままでは自作農が再び小作農へと転落してしまう恐れがあり、さらに飢餓にあえぐ国民の食料供給をどう果たしていくかが国家としての至急課題でもありました。こうした問題を解決するために農協が組織されたのです。



新たに誕生した農協は、組合員が資金を出し合ってお互いに融通し合い、生産資材や生活物資の共同購入や生産した農産物の共同販売を行う総合農協としての機能を最大限に発揮していきました。その結果、我が国の農業生産は飛躍的に拡大し、国民の食料供給に大きく貢献することになりました。

現在の日本農業は担い手の高齢化や後継者不足といった問題に直面しており、農協も組合員の減少や生産基盤の減少により組織や事業の見直しを迫られています。組合員と地域のために農協は現在も地道な活動を続けているのです。

JAきたみらい きたみらい給油所は **「愛車会員」** を募集しています

あなたの車は **大丈夫？**

お得な特典がいっぱい！！

入会費・年会費 **無料！** 入会キャンペーン実施中！！ 平成29年3月1日（水）～

入会の粗品として **JAきたみらい玉ねぎ醤油(100ml)** 進呈！！

会員特典

愛車の日常点検(14項目)をスタッフが無料で実施します！

他にも、タイヤやバッテリーの購入・オイル交換等を **会員価格** で提供！さらにJA整備工場の車検利用で **値引き特典** もあるよ！

※会員価格とは、当JA給油所で行う期間限定のキャンペーン価格となります。

愛車会員之証

点検内容は **14項目**

※点検の対象車両は乗用自動車・軽自動車・小型貨物自動車（トラックを除くワゴンタイプ）に限定させていただきます。

1 ウィンド・ウォッシャー液の量	2 スレーキ液の量
3 バッテリー液の量	4 冷却水の量
5 エンジン・オイルの量	6 タイヤの空気圧
7 タイヤの亀裂、損傷および異常な摩耗	8 タイヤの溝の深さ
9 ランプ類の点灯、点滅およびレンズの汚れ、損傷	10 スレーキ・ペダルの踏みしろおよびスレーキの効き
11 パーキング・ブレーキ・レバー（ペダル）の引きしろ（踏みしろ）	12 ウィンド・ウォッシャーの噴出状態
13 ファイバの拭き取りの状態	14 エンジンのかかり具合および異音

点検のメリット

- 愛車の性能を維持し、安全に安定的に使用できます。
- 外出先での思わぬトラブルを予防します。
- 故障が減り、無駄な出費を抑えられます。
- 長期的に見て車両維持費を軽減させます。（車検代や修理料金等）

詳しくは店頭スタッフにおたずね下さい。

きたみらい農業協同組合燃料自動車グループ

ホクレン温根湯SS ☎(0157)45-2446	ホクレン置戸SS ☎(0157)52-3869	ホクレン相内SS ☎(0157)37-2519	ホクレン中ノ島セルフSS ☎(0157)31-1050
ホクレン留辺蘂SS ☎(0157)42-3164	ホクレン訓子府セルフSS ☎(0157)47-4831	ホクレン上ところSS ☎(0157)38-2421	ホクレン端野SS ☎(0157)56-4112

新車を買うなら。人です！

新型 **STINGRAY**
マイルドハイブリッド搭載

新型 **WAGONR**
マイルドハイブリッド搭載

■ワゴンR スティングレー HYBRID T 4WD CVT 1,779,840円(税込)～	■ワゴンR スティングレー L 4WD CVT 1,414,800円(税込)～	■ワゴンR HYBRID FZ 4WD CVT 1,470,960円(税込)～	■ワゴンR FA 4WD CVT 1,202,040円(税込)～
---	--	--	-------------------------------------

※税別価格。車両本体価格には登録諸料等は含まれておりません。

売れてます！ CARRY
希望小売価格 **99.9万円**～

春の新車フェア 2017年3月31日迄
上記4メーカーの新車ご購入でいずれか1つプレゼント！！

- 1 30,000pt進呈！
- 2 新行券3万円分
- 3 JCB商品券+セレクトフォーユー
- 4 折りたたみ自転車
- 5 血圧計+体温計
- 6 パンにオーブン
- 7 パンチクリナー
- 8 防災セット+非常食+救急バック

※トランク新車ご購入の方は **スタッドレスタイヤ4本(ホイール付き)プレゼント！** **ホクレンエンジンオイルプレゼント！**

【お問合わせ先】 JAきたみらい 燃料自動車グループ
常呂郡訓子府町駒里44番地2 生産資材拠点センター（☎ 0157-47-2099）

JAからの お知らせ INFORMATION

第25回オホーツクJA女性部大会・家の光大会
「オホーツクの輝く仲間たち！
手をつなぎ心ひとつに一歩前進！
明るく未来へ」

オホーツクJA女性部大会に79人参加

オホーツクJA女性協議会は2月1日、2日の両日、温根湯大江本家にて「第25回オホーツクJA女性部大会・家の光大会」を開催し、オホーツク管内14JAから325人の女性部員や関係者が参加。きたみらいからは女性部役員ほか79人が参加しました。

開会にあたり、佐野多希子会長は「女性が輝くことで家のなかも地域も、農業のイメージも明るくなる。食を支える誇りを持ってほしい」と挨拶。続いて来賓のオホーツク総合振興局産業振興部の鈴木賢一郎長、オホーツクJA組合長会の佐藤正昭会長（JAこしみず）、オホーツクJA青年協議会の竹原宏太郎会長



▲開会挨拶をする 佐野多希子会長

オホーツクJA女性協議会3ヶ年計画申し合わせ事項

1. 地域・世代間の垣根を越え、自らが発信者となり、女性部活動の魅力を生み出そう。
2. 食の安全・食の安心の確保と知恵の共有による豊かな農村の暮らしを心掛けよう。
3. 検診による家族の健康管理に努め、ゆとりをもって農作業を行い、事故を防ぎましょう。
4. 安心・安全な農畜産物の食育活動を通じて、オホーツク農業のサポーターを増やしましょう。
5. JAと地域の架け橋となり、夢や目標に向かい女性ならではの意見や発想を持ち、積極的に参加参画しましょう。

本大会ではオホーツクJA女性協議会3ヶ年計画の申し合わせ事項5項が承認され、特別講演として、「みんなで支える在宅介護」と題し、セボラ・コリーナの福嶋美奈子氏の講演会が行われました。

佐藤組合長は「お母さん」は太陽。家族経営中心の農業は家庭環境がよいと良くなる。家庭を明るくし、良い経営につなげてほしい」と話しました。

武田志津子部長が東北・北海道リーダー研修会について報告。「貴重な経験ができたとともに、オホーツクの仲間との親睦も深められ、参加できて良かった」と話しました。

家の光記事活用体験発表では、JAびほろ女性部の菅原美華さんが「わたしと『家の光』」と題し、発表を行いました。家の光創刊90周年記念号を機に購読を始め、現在では料理のアイデアなどを家庭や女性部活動に取り入れています。また家の光を通して、全国の女性部の活動が伝わり、紙面のキラキラした女性の表情から、「読んで後に不思議と前向きな気持ちになれる」と、明るく話す姿に会場のみなさんも感心。大きな拍手が送られました。

夜には参加者全員が同じ会場に集い、懇親会が行われました。食事や



▲特別講演をする 福嶋美奈子氏



研修報告をする 武田志津子部長

置戸支部は手作りしたアイドル風の制服姿で登場。80年代の大人気アイドルグループおニャン子クラブの「セーラー服を脱がさないで」を披露し、可愛らしさとおもしろさを織り交ぜたダンスで会場を盛り上げました。

温根湯支部は「ハァーフェクトウーマン〜Love you おんねゆ〜」と題し、お笑いコンビオリエンタルラジオが率いる音楽グループの流行曲に合わせ、キレのあるカッコイイダンスを披露。最後には同地区で活動する白花豆くらぶのキャラクター白花マメ太郎も登場し、温根湯地区の名産品もPRしました。



▲白花マメ太郎と温根湯支部のみなさん

研修2日目には、旭川市で農業とおむすび屋さんを営む、農業栄養士の高倉晴美さんを招き、「私の農業と食」題して講演が行われました。農家に嫁いでから、農作業と子育てに奮闘し「自分達がやってきた農業に価値をつけたい」と40歳で旭川大女子短大食物栄養学科に入学。その後、仲間とレストランを開業するも、自然のなかにお客さんを呼べたらと考え、自身の畑の横に厨房を建て、おむすびなど軽食を提供する「アトリHareni」開店。その後、おむすびや惣菜の移動販売も始めました。食農教育活動にも取り組んでおり、本来の味を伝えることにも力を入れ



▲講師の 高倉晴美氏

ています。講演中にも「だし」の違いを比べるクイズを参加者に出題。舌に自信のある5名が挑戦し、こんぶ・にぼし・かつお・市販のだし調味料の違いを体感しました。参加者は高倉氏の食へのこだわりや強い想いに感銘を受けていました。

閉会式では各JA女性部から出品された作品展の表彰が行われました。きたみらいからは趣向を凝らした17

点が出品され、そのなかから、フラワーモーター作品展で訓子府支部の「フラワーカーニバル」が優秀賞を受賞。手作り加工品の食品部門では温根湯支部の下込部員の「白花フリッター」、手芸部門では端野支部の松下部員と清野部員の「プリザーブドフラワー」がそれぞれ優秀賞を受賞しました。

(丸山恵理)

- ▲優秀賞を受賞した作品
- ①：フラワーカーニバル
 - ②：白花フリッター
 - ③：プリザーブトフラワー



②



▲熱心に話を聞く参加者



▲だしの違い当てに挑戦！



①



③



▲佐野会長より賞状を受けとる下込部員

INFORMATION



▲ジャガイモの品種について説明する佐藤会長



▲見て、触って、味わって、違いを感じました

東京都内小学校で出前授業 じゃがいもの育て方を伝える

JAきたみらいでは食育事業の一環として、2月14日、15日の両日、東京都内の小学校2校で出前授業を行いました。

これは北海道のJAやホクレンでつくる北海道産青果物拡販宣伝協議会の「Greenベジフル教室」の取り組みの1つ。消費地の子もたちに生産者が直接、野菜の魅力や知識を伝えることを目的としています。

今回は当JA馬鈴しょ振興会の佐藤茂樹会長ら6人が烏森小学校の5年生(43人)、相生小学校の5年生(48人)を対象に、馬鈴薯栽培などについて説明しました。

児童は、国産の馬鈴薯(じゃがいも)の約8割を北海道で生産していることや、北海道で約250種類の野菜が作られていることに驚きの声をあげていました。

また、実際にじゃがいもを手に取り、品種ごとの違いを注意深く観察。試食をして「男しゃく」「スノーマーチ」などの味の違いを感じました。

佐藤会長は児童たちに「植物、野菜も生きている。農家はじゃがいもを始めとした野菜を“健康に”育てる仕事をしている。健康に育てた野菜を食べて、みんなも健康に育って欲しいので、好き嫌いせずに、残さず食べて欲しい」とメッセージを送りました。

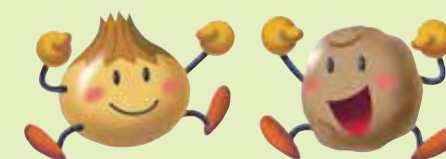
1市2町に 地場産野菜と リンゴを贈呈

JAきたみらいは2月2日、学校給食の食材に使ってもらおうと北見市と訓子府、置戸両町に地元産タマネギ4,160キロとバレイショ「スノーマーチ」2,000キロを贈呈しました。

地産地消と食育活動を進めるため、当JAでは2010年から毎年贈っています。「JAみらいサミット」への参加が縁で、青森県平川市のJA津軽みらいからもリンゴ8,418個が届けられました。

北見市を訪れた当JAの大坪専務は「おいしい地場産野菜を食べて、健康に育ってほしい」と願いを込めました。

また、子どもたちに少しでも地元の野菜に興味をもってもらえるように期待し、北見地区農業振興連絡協議会が作成した食育パンフレットや食育シールも合わせて、1市2町に届けました。



写真説明

- ①：(左から)馬鈴薯振興会の佐藤会長、JA津軽みらい澤専務、玉葱振興会の土山会長、辻市長、当JA齊藤常務、当JA大坪専務、志賀教育長
②：(左から)菊池訓子府町長、林教育長、大坪専務、佐藤会長、澤専務、土山会長
③：(左から)佐藤会長、林教育長、和田置戸町長、土山会長、大坪専務、澤専務、齊藤常務、JA津軽みらい後藤総務部長



1



2

写真説明

- ①全国から小泉小学校に手紙の返事が寄せられる
②昨年11月の施設見学

全国各地から“おいしい”の声 児童たちの手紙に返信が届く

北見市立小泉小学校の3年生92人は総合的な学習の一環として、「北見の玉葱」について学びました。昨年11月に当JAの端野地区玉葱選果場を見学し、玉葱が全国に向けて出荷されていることを学習。また、児童たちが書いた手紙150通を当JAから段ボールに添えて全国に発送しました。

年末から今年1月中旬までに約70通の返事が同小学校に寄せられ、東京都、埼玉県をはじめとした全国から「北見の玉葱はおいしいです」といった声が届きました。スーパー、仲卸問屋などから売り場や調理写真などが添えられており、消費地でどのように利用されているか、返信が1通届くごとに児童たちは驚き、関心を抱きました。

児童のなかには返事をくれた東京築地市場の仲卸問屋を訪れ、冬休みの自由研究としてまとめた子も。返事をくれた方々にみんなでお礼の手紙を書き、北見産玉葱の評価の高さを知り、地元北見の自慢を実感する学習となりました。



▲食材とともに子どもたちに贈る食育パンフレットと食育シール

INFORMATION

第1回 理事会報告

2月21日、午前9時30分より第1回定例理事会が開催され、報告事項13件、決議事項13件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①監事監査報告（自己査定・クミカン精算状況・随時監査）について
- ②平成29年度監事監査計画について
- ③内部監査報告（自己査定・決算処理）について
- ④平成28年度内部監査業務活動報告について
- ⑤組合員状況報告について
- ⑥平成28年度資産査定結果について
- ⑦固定資産の処分について
- ⑧地区別懇談会の実施報告について
- ⑨反社会的勢力等との取引排除及び組織犯罪の防止に係る対応状況について
- ⑩平成29年度信用基準による階層区分の設定及び指導区分の変更並びに対策農家の選定について
- ⑪H28年度共計玉ねぎ・馬鈴しょの選果販売状況について
- ⑫理事に対するクミカン貸越極度額の設定に係る報告について
- ⑬理事からの販売品買取・加工品仕入に係る報告について

【決議事項】

- ①出資減額について
- ②規定類の改正について
- ③車両洗浄施設工事に係る入札申請結果と発注方法について
- ④玉ねぎ加工処理施設の工事に係る発注方法について
- ⑤玉ねぎ集出荷貯蔵施設の外構工事に係る発注方法について
- ⑥玉ねぎ選別施設工事に係る発注方法の変更について
- ⑦平成29年度借入金の最高限度について
- ⑧平成29年度コンプライアンス・プログラムの制定について
- ⑨平成29年度余剰金の運用について
- ⑩平成28年度事業報告（含む事業報告付随書）及び計算書類（剰余金処分案を除く）について
- ⑪税効果積立金の取崩のついて
- ⑫平成28年度剰余金処分（案）について
- ⑬理事からの加工品仕入について

営業時間の変更のお知らせ 平成29年4月1日(土)～10月31日(火)

センター・地区事務所				
営業時間				
	平日	土曜日	日曜日	祝祭日
事務所	8:40～17:00	8:40～12:00※		
金融窓口	9:00～15:00	休み	休み	休み
(ATM)	9:00～18:00	9:00～14:00		
共済窓口業務	9:00～15:00	休み		

※事務所は第2・第4土曜日休業

資材店舗				
北見				
温根湯	8:40～17:00	8:40～12:00	休み	休み
端野				
置戸		8:40～12:00※		
生産資材拠点センター		8:40～12:00※	休み※	休み※

※置戸店舗は第2・第4土曜日休業

※生産資材拠点センターは5/1以降、次のとおり
(土)8:40～17:00、(日)8:40～17:00、ゴールデンウィークは別途対応

給油所				
各給油所	8:00～19:00	8:00～19:00	8:00～18:00※	8:00～18:00

※上常呂給油所は日曜日休業

※端野セルフ給油所は日曜日毎週営業

整備工場				
北見				
訓子府	8:40～17:00	8:40～12:00※	休み	休み
端野		8:40～12:00		

※北見整備工場は第2・第4土曜日休業

貯金窓口に手作りの置物寄贈

当JA本店貯金窓口では2月9日、瀬野誠さん（北見地区）から手作りの木彫りのフクロウの置物が寄贈されました。

瀬野さんは過去にも置物を寄贈されており、古くなったものと置き換えされました。置物は塗装してツヤ出しされており、目を入れてあるのがこだわりのポイントです。

本店をご利用の際にはぜひご覧になってください。



◀先輩フクロウ3体とともに利用者を見守るフクロウの置物

お詫びと訂正

先月号（169号）のおひさまサラダで、誤りがありましたので次のとおり訂正し、深くお詫びいたします。
P18 （誤）大田 ⇒（正）太田

小麦について食育授業

当JA企画振興グループは2月15日、20日の両日、東藻琴高校の1年生7人を対象に小麦について食育授業を行いました。

15日は当JA小麦乾燥調製貯蔵施設を案内し、小麦の品質について説明。20日は同高校にて小麦の種類や使用用途の違い、品種の違いを話したほか、DVDの上映を通して播種から収穫までの一連の流れを伝えました。

同高校では今後、オホーツク産小麦を使用した菓子作りに取り組む予定です。



▲小麦について説明を受ける生徒のみなさん

今月より不定期連載スタート



相談員だより ◆春号第1号◆

ポカポカと暖かい日もありますが、まだまだ寒い日が続きます。風邪には注意が必要です。気温差が大きい時は、特に脳や心臓の疾患に注意が必要です。

今回は、脳の病気についてふれてみたいと思います。

脳に関する疾患は、脳の血管がつまる脳梗塞や、血管が破れるクモ膜下出血、脳出血があります。特に血圧の変化が大きいと、このような病気にかかりやすいです。

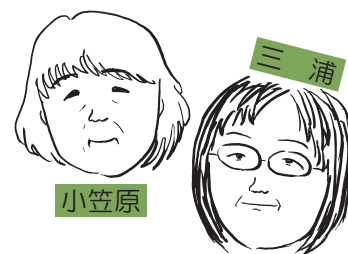
日頃から血圧に注意し、時々自分の血圧を計る習慣をつけ、自分の値を知る事も大切です。異常がある時は、迷わず病院に行きましょう。



高齢者生活相談員です

0157-32-8786

までお気軽にご連絡下さい



地区名	組合員戸数	出席人数	出席戸数	出席率
温根湯	71	37	25	35.2%
留辺蘂	35	25	19	54.3%
置戸	92	52	36	39.1%
訓子府	291	68	64	22.0%
相内	84	47	40	47.6%
上常呂	110	36	35	31.8%
北見	182	62	56	30.8%
端野	196	91	80	40.8%
計	1,061	418	355	33.5%



▲62人が出席して行われた北見地区懇談会

JA事業へ活発な意見と質問

当JAは2月7日から10日までの4日間、組合員一人ひとりの声をJA事業に反映させようと、冬期地区別懇談会を8会場で開催しました。延べ418人が出席し、活発な意見と質問を頂きました。

8日にJAセンター事務所で行われた懇談会には62人が出席。地域運営委員長の進行により、西川組合長をはじめ常勤役員が、平成29年度の事業計画や部門別経営計画等を説明しました。

参加した農業者からは酪農家向けのコントラクター事業や人材確保の要望、シストセンチュウ対策等について質問が出されました。青年部員からは昨年8月の大雨被害に対する長期的な支援要請が出され、西川組合長は「激甚災害指定を受けたとはいえ、復旧には時間がかかる。今後とも若手生産者の意欲を損なわないよう支援していく」と応じました。

なお、懇談会で出された意見・要望などについては後日「Q&A」にてお知らせ致します。

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。
間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



2月号まちがいさがしの当選者

2月号のまちがいさがしの答えは「1、6、8、11、12」でした。正解者39名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

()内は地区名

- ・加藤 なおみさま (留辺蘂) ・坂下 創思さま (留辺蘂)
- ・荒 えみ子さま (留辺蘂) ・有馬 郁子さま (置戸)
- ・小建 登美子さま (置戸) ・斉藤 博行さま (訓子府)
- ・島貫 昌代さま (訓子府) ・植田 洋子さま (訓子府)
- ・戸田 富美子さま (北見) ・吉田 秀子さま (上常呂)

以上の方々には、「JAきたみらいの「焼肉のたれ」「玉葱の塩だれ」をプレゼントします。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。

抽選で10名の方に、JAきたみらいの「玉ねぎと鶏もも肉の黒カレー」2箱をプレゼント致します。

1 つも楽しく読んでます。
ハウス作業始まりますね。健康でお手伝いできるようにがんばりたいね～!!

(留辺蘂地区 荒 えみ子)

いつもおひさまサラダを手にとりいただきありがとうございます。

これから旬になってくる春野菜は健康に良いといわれていますので、ぜひ注目してみてください!

女 性部をはじめ、新役員さんで一年が始まりますね! 女性部の集まりをとて楽しみにして日々の営農をしています。仲間作りにはいいですよ～!

(匿名希望)

女性部の集まりを目標に日々がんばれるということとはとても良いことです! 今年も農作業に、組織活動に、充実した一年にしてください!!

読者の声

2 目になり少しずつ春の気配。
うれしいような、淋しいような。

(置戸地区 小建 登美子)

もうすぐ春! 少しずつ日が長くなり暖かくなってきていますね。

畑作業も本格化してくるので、体操などをしてケガに備えましょう!

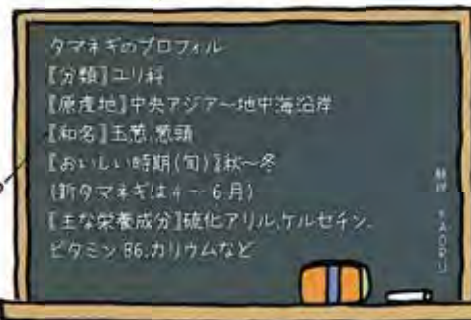
私 がまだ若書会に所属していた頃は、人数も多くイベントもそんなに多くなかったのですが、今のフレミズや青年部は人数が少ないながらも協力して、行事やイベントに参加し素晴らしいと感じています。

(匿名希望)

広報誌で何度も取り上げています。どの組織も活発に活動していますので、記事を見てエネルギーを感じてくださいね!)



イラスト: 小林裕美子



タマネギ

～疲労回復に効果が期待できるパワフル野菜～

見分け方



保存方法

日の当たらない通気性の良い場所ですべて保存



新聞紙に一つずつ包み、風通しの良い場所で保存

薄切りやみじん切りにして冷凍し、料理に活用する



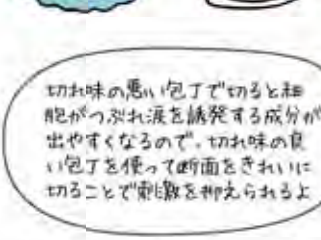
新タマネギは水分が多く日持ちしないので、冷蔵庫で保存

楽しみ方・食べ方のコツ

和洋どんな料理にも欠かせない定番野菜だよ! 料理のうま味や隠し味としても♪



皮をむくときは、れぎと水に浸してむくと表面の皮が軟らかくなり、むきやすいよ



切る前に冷蔵庫で冷やしておくと、硫化アリルの揮発が減り、目への刺激が少なく涙が出にくくなる

タマネギのチカラ

独特の香り成分、辛味成分「硫化アリル」がビタミンB1の吸収を助け、新陳代謝を高める



タマネギのいろいろ



黄タマネギ

最も多く出回っている品種で、辛味があり、保存性が高いのが特徴。収穫後1ヶ月ほど乾燥させて出荷される



新タマネギ

春先に出回る早生種の軟らかい味で、フレッシュな味と出荷される。扁平で柔らかい辛味が少ない生食にも向いている



白タマネギ

辛味や刺激臭が少ない甘タマネギ。生で食べたり、煮たり、焼いたり、揚げたり、サラダに利用される。熟すると美しいピンク色になる



赤タマネギ (紫タマネギ)

水分が多く甘味がある。彩りを生かしてサラダに利用される。熟すると美しいピンク色になる



青タマネギ

白タマネギを上等して、早く収穫したもの。青も食べることもできる。甘味とうま味が強く、粘りがある。肉汁やみじん切りにする



ペコロス (小タマネギ)

黄タマネギを密植し成長を抑えて育てたもの。直径4cmほどで、れぎと生食やポトフなどに

タマネギのじみツ

栽培の歴史は古く、古代エジプトやメソポタミア文明で始まったという説がある



onionはラテン語でunio (養育)が語源。古くは魔除けとして利用されていた



日本には江戸時代にオランダ人が長崎に持ち込んだのが始まりといわれる

onion unio (養育)



【材料：4人分】

タマネギ 2個
ジャガイモ 2個
ニンジン 1本
牛肉（煮込み用） 100g
ヒラタケ 1パック
青み野菜（お好みで） 適宜
固形スープのもと 3個
水 3カップ
オリーブ油 大さじ1
こしょう 適宜

洋風タマネギまるごと肉じゃが

【作り方】

- ①熱したフライパンにオリーブ油を入れ、横半分に切ったタマネギ、牛肉に焼き色を付ける。
- ②炊飯器に固形スープのもと、水、ジャガイモ、ニンジン、ヒラタケ、①の材料を入れ、50分炊く（50分たったらスイッチを切る）
- ③器に盛り付けお好みの青み野菜を飾り、こしょうを振って出来上がり。

メモ

炊飯器での簡単調理ながらも、タマネギの甘味が十分に引き出せます。忙しい主婦の方にピッタリのうれしいメニューです。



【材料：4人分】

新タマネギ 2個
トマト 2個
小ネギ 1/2束
しらす 適宜
いりごま 大さじ1
塩昆布 2つまみ
ポン酢 大さじ2
かつおだし 大さじ2
ラー油 小さじ1/2

新タマネギのさっぱりサラダ

【作り方】

- ①新タマネギは薄切りにして水にさらす。トマトはさいの目に切っておく。
- ②十分に水気を切ったタマネギをボウルに入れ3cmほどに切った小ネギ、塩昆布、いりごまと混ぜ合わせます。
- ③器に②、トマト、しらすを盛り付ける。
- ④ポン酢、かつおだし、ラー油を合わせたドレッシングを回し掛けて出来上がり。

メモ

この時期に甘くておいしい新タマネギのサラダです。さっぱりといくらでも食べられます。お好みでちぎった韓国のりを散らすとおいしさアップ！

編集後記

- ・春の農作業が始まりあわただしい時期となってきました。私も新人で入組(にゅうそ)してから早2年近くなり、また新しい年度に気持ちを切り替えて仕事に臨みたいと思います。
- ・春作業のスタートに伴い農作業事故の報告が増えております。焦らず、怠らずの気持ちで作業に取り組んでください。

(神田 貴章)

JAきたみらい概要

(平成29年2月14日現在)

- ・組合員数(正) 1,724人
- ・組合員数(准) 6,219人
- ・組合員戸数(正) 1,061戸
- ・貯金 106,551百万円
- ・貸出金 13,605百万円
- ・出資金 4,973百万円